

-----2月21日----- 2022年

※ 今週のアウトルック(2/21~2/25)

先週はウクライナ情勢に大きく振り回される週となりました。
ロシアや米国の軍事関係の報道に、特にユーロ関連が大きく動きました。
回避できるとの報道が流れた場合も、買戻しがかなり強いようです。

今週もウクライナ情勢に大きく左右されそうですが、そろそろ何らかの方向性が見えてくるかもしれません。

その時の売り、買戻し圧力とも、今以上に大きなものになりそうです

先週のドル円は、ウクライナ情勢の報道に左右されて115円台での動きとなっています。
また、FRBの今後の動向に関する報道にも影響されているように思います。

今週も、ウクライナ情勢に大きく左右されそうです。
夜間の時間帯に情勢が大きく変わることも多いので、オーバーナイトポジションはあまり持たないほうが良いかもしれません。

ドル円の予想レンジは114円から117円です。

先週ユーロ円も、ウクライナ情勢に大きく左右されています。
テクニカル的にも130円以下へ割り込んでしまった場合には、急落の可能性もありそうです。

今週は、先週末に130円台前半まで下落しているため、130円付近のサポートラインで支えきれなかった場合には、ウクライナ情勢の報道を待たずに急落する可能性も考慮しておいたほうが良いかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは127円から133.5円です。

ポンドはEUR/GBPの動きから、ややユーロからの逃避先になっているように思います。
ユーロが急落した場合、ポンドが上昇する可能性も視野に入れておいたほうが良いかもしれません。

ポンド円の予想レンジは155円から158円です。

ウクライナ情勢に関する報道が一枚岩ではない可能性もあります。
情報を起点としたポジション取りは、あまり行わないほうが良いかもしれません。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。